

## 公益社団法人日本心理学会研究集会等助成金成果報告書

代表者氏名	島津明人	所属	東京大学大学院医学系研究科精神保健学分野
研究集会等名称	公益社団法人日本心理学会産業保健心理学研究会		
成果概要	<p>1) 参加人数 (会員・非会員及び認定心理士の人数を記載してください)          会員 100 名 (うち認定心理士 1 名)          非会員 200 名 (うち認定心理士 0 名)</p> <p>2) 集会等の目的・成果等          (実施内容・成果・将来計画等を用紙範囲内に記載してください)          本研究会は、臨床心理学、産業・組織心理学、社会心理学、精神医学、公衆衛生学などの多領域にわたる国内外の研究者や実践家らとともに、労働者の安寧 (健康, 幸福, 安全) に関する研究と実践について、総合的に検討することを目的として設立された。          本年度は、主に以下の3つの活動を行った。</p> <p><b><u>(1) 国際学際交流シンポジウム「これからの職場のメンタルヘルス対策を考える」</u></b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2013年7月20日 (土), 東京大学</li> <li>・内容: 韓国カトリック大学精神科 Chae 教授を招聘しての基調講演のほか、日本国内の職場のメンタルヘルスの研究者・実践家によるパネルディスカッションから構成され、わが国の産業保健心理学の国際化に貢献した。約250名が参加した。</li> </ul> <p><b><u>(2) 日本心理学会第77回大会におけるシンポジウム「職場のストレスとメンタルヘルス: 職場のストレスとメンタルヘルスー健康いきいき職場づくりの理論と実際ー」</u></b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2013年9月20日 (金), 北海道医療大学</li> <li>・内容: 2002年から毎年年度大会にて企画しているワークショップ/シンポジウムであり、2013年度で12回目の開催となった。今回は、約50名の参加者とともに、健康でいきいきとした職場づくりに向けて討論を行った。</li> </ul> <p><b><u>(3) 日本心理学会第77回大会チュートリアルワークショップでの講師派遣</u></b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2013年9月19日 (木), 北海道医療大学</li> <li>・内容: 研究会世話人の桜美林大学種市康太郎准教授を講師として「産業場面でのメンタルヘルス教育の進め方」の講義を行った。当日は約60名の参加があり、産業場面でのメンタルヘルス教育に関する講義やグループワークを行った。</li> </ul> <p><b><u>(4) 公益社団法人日本産業衛生学会第55回産業精神衛生研究会への後援</u></b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・2014年2月8日 (水), 産業医科大学</li> <li>・内容: 産業保健・産業医学の研究者・実践家とともに、職場のメンタルヘルスの研究と実践について、多面的な視点から討論を行った。約100名が参加した。</li> </ul> <p>次年度は、(1) 日本心理学会第78回大会でのシンポジウムの企画、(2) フロー理論で著名なチクセントミハイ教授 (米国クレアモント大学) の特別講演会などを予定している。</p>		

2013年 3 月 13 日

日本心理学会研究会 2013年度会計報告書

研究会名称 産業保健心理学研究会

研究会番号 研13022

助成金額 ￥20,000

年 月 日	項 目	金 額
2013年9月20日	大会参加費及び旅費補助（非会員講師1名） （大会参加費は研究会世話人による立替払い）	￥20,000

支出合計 ￥20,000